

平成22年度 東葉高速鉄道事業計画

平成22年度の事業の実施にあたっては、鉄道輸送の基本である「安全を最優先」とする姿勢を一層強固なものとしながら、地域に根差した企業として、お客様のニーズを的確に捉え、積極的なサービスに努め「より安全・快適・便利な鉄道」を目指します。

1 安全輸送の確保

鉄道の生命である輸送の安全を確保し、開業以来13年間の運転無事故記録を今後も継続すべく、安全管理体制の更なる強化等により、お客様がより安心して利用できる東葉高速鉄道を目指します。

- (1) 高架橋橋脚の耐震補強の推進
- (2) 非常灯・誘導灯の交換など老朽設備の更新
- (3) トンネル排煙機用非常電源装置の整備着手
- (4) 安全確保・向上のための社員教育・訓練の実施
- (5) 全社的な取り組みによる安全管理体制の強化

2 サービスの向上

高齢者や障害者はもとより小さなお子様をもつ若い世代に至る多くの沿線地域の方々のニーズを的確にとらえ、快適な輸送サービスに努めます。

- (1) 東葉勝田台駅・飯山満駅にエレベータ設置
- (2) 八千代緑が丘駅・東海神駅のエレベータ設置に向けた検討
- (3) コンコース・ホームの案内看板の更新
- (4) コンコースに行先表示器を新設
- (5) P A S M Oの利便性拡大のための駅務機器ソフト改造
- (6) 「お客様の声」を反映したサービス向上対策の実施

3 経営改善の推進

作業内容の見直しや一部作業の直営化等により経費を節減するとともに、繰上償還による財務体質の改善を図り、早期に健全経営が確立できるよう努めます。

- (1) 車両クレーン交換の直営化など、輸送の安全を確保した上で行う経費の節減
- (2) 繰上償還の適切な実施による支払利息の軽減

4 運輸収入の確保

鉄道利用客の誘致を図るために、国土交通省の「地域公共交通活性化・再生総合事業」も活用しながら、沿線集客施設との連携や企画乗車券のPR等を積極的に行い、運輸収入の増加に努めます。

- (1) 沿線集客施設との連携による鉄道利用客の確保増大
- (2) 割安感を感じる新たな企画乗車券の導入や、東葉東京メトロパスキャンペーンの実施等による鉄道利用の促進
- (3) 公共交通利用促進に向けたパンフレット配布等による啓発活動の推進
- (4) 「ゆめ半島千葉国体」の開催に合わせた来場者の鉄道利用の促進

5 関連事業の推進

所有する未利用地や施設の有効活用を推進することにより、関連事業による増収に努めます。

- (1) 船橋日大前駅付近の鉄道高架下を活用した店舗及び保育所建物の新築
- (2) 村上駅付近の鉄道高架下を活用した店舗建物の新築
- (3) 駅構内・列車内のスペースを活用した各種ポスター・電飾ボード・特殊広告等、広告収入の確保
- (4) テレビ・映画等への撮影協力による施設使用料の確保

6 人材育成

社員教育を積極的に推進し、東葉高速鉄道を担う人材の確保・育成を図ります。

- (1) 職場内研修および職場外研修の実施による人材育成
- (2) 安全確保・向上のための社員教育・訓練の実施

7 地域との共生

東葉高速線への親しみと一層の利用を促進するためのイベント開催や、地域情報の発信等により、地域との共生に努めます。

- (1) 地域の持つ資源や当社施設を有効に活かし、「東葉サマーコンサート」・「駅からウォーク」・「車両基地イベント」を開催
- (2) 駅公設掲示板等を利用した地域活動への積極的な支援